

発注仕様書

1. 委託名：平成3年度阿蘇市教育旅行受入れ事前・事後学習サポート推進業務委託

2. 場 所：熊本県阿蘇市

3. 背 景：

阿蘇市は、九州のほぼ中央に位置し、阿蘇五岳を中心とする世界最大級のカルデラや広大な草原を有し、平坦地の阿蘇谷と、傾斜地の外輪地域で形成されている。また、阿蘇くじゅう国立公園に指定されており、特有な希少植物が自生するなど、自然資源が大変豊富である。さらに、今なお続く活発な火山活動からは、地球の鼓動を直に体感することができる特異的な地域である。

近隣町村との広域的な阿蘇地域のブランド化への推進においては、平成25年度に阿蘇の草原の維持と持続的な農業システムが、国際連合食糧農業機関の「世界農業遺産」に認定され、翌26年度には阿蘇カルデラ地形と人々の活動が地球科学的な評価を受け、ユネスコプログラムである「世界ジオパークネットワーク」に加盟認定された。また、人間の営みにより遺された資産として、阿蘇火山との共生と文化的景観をテーマに「世界文化遺産」の登録に向けて挑戦している。

このような自然の宝庫とも云える阿蘇市への教育旅行受入れは、遡ること今から20年前には30万人にも及ぶ値を占めていた。しかし、時代の変化とともにその数も減り、平成27年には約5万人という実績となり、その翌年には熊本地震という外的要因から現在では、1万人にも満たないところまで激減している状況にある。さらには、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延により、その影響は計り知れない。

4. 目 的：

新型コロナウイルス感染症拡大の影響から全国的に教育旅行が低迷している中、収束後を視野に入れ、従来の教育旅行を誘致していくことを目的とする。

具体的には、阿蘇における教育旅行を整理したオリエンテーション用のデータを作成し、教育旅行における事前・事後学習に活用するなどサポート体制の充実化を図る。また、その情報を活用して、オンラインによる営業活動にも効果が期待できる。オリエンテーション用のデータは、修学旅行（小学校、中学校、高等学校）向け、大学生のインターンシップ向け、企業研修向け、それぞれのタイプ別に作り込みを行い、誘致活動に活用していく。

地元の教職員OBや有識者・専門家の指導を仰ぎ、学校の教科書や会社の方針に応じた教育旅行のコンテンツ造成にも取り組み、併せて教育旅行全般における受入れ環境づくりを進め、地域への波及効果と経済浮揚につなげる。

5. 内 容：

教育旅行の誘致を目的とした事前・事後学習サポート体制の構築

1) 教育旅行用テキスト等作成

修学旅行用としては、小学校高学年、中学校、高等学校の3種類を作成する。加えて、大学生のインターンシップ用と企業研修用の2種類を作成する。作成にあたっては、阿蘇市から要請する地元の教職員OBや有識者・専門家の指導を仰ぐこと。また、その後の修正が考えられるため、阿蘇市で操作可能なデータづくりに協力すること。

2) 教育旅行コンテンツ造成

阿蘇が持つ資源を最大限に活かした教育旅行コンテンツの造成を行う。例えば、ユネスコ世界ジオパークを活用した「阿蘇火山の大地と人間生活」プログラム、世界農業遺産を活かした「阿蘇の草原の維持と持続的農業」プログラム、平成28年熊本地震から学ぶ震災ミュージアムなどと連携したプログラムなどが想定される。

3) 事前・事後学習サポート体制の構築

他にはないサービスとして、阿蘇での教育旅行は事前・事後サポートが受けられるのが売り文句となるよう、その体制の充実化を図る。地域には、阿蘇火山博物館の学芸員やユネスコ世界ジオパークの地球科学専門員、京都大学火山研究センターの先生方、阿蘇グリーンストックを介した草原を守る人々、阿蘇ジオパークガイドには教職員OBも存在する。そのような地域の第一線で活躍されている実践者からオンライン等による事前・事後サポートが受けられるような体制を整える

4) 教育旅行の新たな営業活動への準備

教育旅行の誘致において、特に修学旅行に関しては、2年先を視野に入れ営業するものと捉えられている。これから先、新たな誘致活動にあつては、構築した事前・事後サポート体制を大きく打ち出した営業活動の展開が求められる。そのため、事前・事後サポート体制など各種サービス事項や教育旅行コンテンツ、お勧めルートなどを集約したリーフレットを作成し、営業活動に活用する。

5) ホームページ情報の充実化への協力

教育旅行の誘致を推進している阿蘇温泉観光旅館協同組合のホームページ上で、教育旅行コンテンツ情報の充実化を図る。具体的には、阿蘇でしか体験できない教育旅行コンテンツの魅力や、教育旅行における事前・事後学習サポート体制の完備など、これからの教育旅行に必要とされる情報を掲載することに協力する。

6. 履行期間：

契約締結の日から令和3年10月29日まで

7. 成果品：

1) 教育旅行用テキスト（小学校用）：	1, 000部
2) 教育旅行用テキスト（中学校用）：	1, 700部
3) 教育旅行用テキスト（高等学校用）：	300部
4) 学校向け営業リーフレット（A4判4頁）：	4, 000部
2) 企業向け営業リーフレット（A4判4頁）：	1, 000部
3) 報告書／紙媒体（A4判）：	10部
4) CD-ROMまたはDVD-ROM：	3部

8. 注意事項等：

- 1) 本業務を履行するうえで知り得た情報等については、第三者に開示または漏洩しないこと。
- 2) 本業務の成果物となる報告書および二次的著作物については、阿蘇市（所管：経済部観光課）に帰属するものとする。
- 3) 本業務の実施にあたっては、関係する法令および諸規程を遵守すること。
- 4) 本仕様書に記載のない事項であつて、本業務の遂行に必要と認められる事項が発生した場合には、監督職員に速やかに協議し、その指示に従うこと。
- 5) 限られた期間内での業務であるため、既存資料の活用等については可能とするが、著作権等の確認を得たうえで、使用の許可を認めるものとする。

9. 特記事項等：

1) 阿蘇ユネスコ世界ジオパーク「阿蘇火山の大地と人間生活」

阿蘇ユネスコジオパークの象徴である世界有数の巨大カルデラ。約27万年前以降の活発な火山活動と、約9万年前の大噴火によって形成された独特の地形や地層、噴火がもたらした日本各地への影響など、ジオサイトを通じて理解してく。そこは数十万年の時空を超える感動体験。 <http://www.aso-geopark.jp>

2) 阿蘇世界農業遺産「阿蘇の草原の維持と持続的農業」

阿蘇では、長年にわたり草原資源を循環的に利用し、持続的な農業展開されてきた。その結果、世界最大級のカルデラに22,000ヘクタールの大草原が広がり、多くの動植物が生育・生息している。この阿蘇の農業システムは、人と自然が共存していくにはどうすればよいか?の一つの解答でもある。 <http://www.giahs.aso.jp>

3) 熊本地震震災ミュージアム「熊本地震の記憶を未来へ遺し学ぶ」

熊本地震の経験や教訓を学び、風化させず確実に後世に伝承し、今後の大規模自然災害に向けた防災対応の強化を図り、熊本の自然特性を学び、改めて自然を畏れ、郷土を愛する心を育むことを目指す。県内各地に点在する震災遺構等を巡る廻廊形式のフィールドミュージアム。 <http://www.kumamotojishin.museum.com>